

夢の子育てをみんなで……子育てに不安を持つ母親と子供の親子大学 教育ボランティアとのコラボで継続的無償講座

NO.1

背景

- ◆ 子育てに悩みをかかえる母親は少なくない
- ◆ 子供が反抗する、話してくれない、人見知りが強い、嘘をつく、落ち着きがない、等々
- ◆ ひどい場合は、いじめ、不登校、非行、ひきこもりなど危急の対応が必要な例は事欠かないでも

- ◆ 教えてくれる親戚や友達はあまりいない
- ◆ 学校の先生は忙しくて一人の生徒に構ってくれない
- ◆ 親はやり方がわからないので、子供はますます思うようにならない
- ◆ しまいに親までがおかしくなってしまう

子育てには

- ◆ 愛情をかけるのが大事、でも甘やかしは禁物
- ◆ 子供のしつけは大事、でも厳しすぎるのは禁物
- ◆ その加減は子供一人ひとりそれぞれに違う、それには経験と助言が必要
- ◆ ネットで調べると情報はあっても、

ネットでは

- ◆ いつの間にか教育業者の宣伝だったり
- ◆ 教育オタクの無責任コメントだったり
- ◆ 少なくとも文字だけの情報では微妙な子供との対話が出来ない

地域にとって子育ては将来の宝を磨くようなもの
核家族化、少子化の波で、現在それが危機的状態です。
今こそ立ち上がらなくては！

不登校とは「何らかの要因により登校しないか出来ない状況にあるため年間30日以上欠席したもののうち病気や経済的理由によるものをのぞいたもの」の生徒である。13年度調査で小中校生合わせて13.9万人であった。

不登校の原因は以下の通り

1. 学校生活に起因 36.2%
 - 友人関係をめぐる問題
 - 教師との関係をめぐる問題
 - 学業不振
 - クラブ、部活動への不適應
 - 学校の決まり等をめぐる問題
 - 入転学、進学時の不適應
2. 家庭生活に起因 19.1%
 - 家庭生活環境の急激な変化
 - 親子関係をめぐる問題
 - 家庭内の不和
3. 本人の問題に起因 35.0%
 - 病気による欠席
 - 無気力など、本人にかかわる問題
4. その他 9.7%

不登校は人間関係の問題が主です。
子育ての問題と直結します！

夢の子育てをみんなで……子育てに不安を持つ母親と子供の親子大学 教育ボランティアとのコラボで継続的無償講座

No.2

本構想のコンセプト

1. “子育ての悩み”から“子育ての夢”に変える母親同士の意見交換の場を提供
(主に小学生児童を持つ親)
2. 夢の子育てにつながる情報提供とイベントの開催
3. 経済的にも心理的にも参加しやすい会
4. 学校や地域、行政との協業

コンセプトから導かれる要件

1. 場の設定
 - ✓ 気月にできるな情報交換や連絡の手段(携帯やスマホの活用など)
 - ✓ 参加したくなる楽しくて役に立つイベント
 - ✓ 親子の参加(イベントは日曜祝日開催)
2. 情報提供とイベントの企画
 - ✓ 有用な子育て情報提供やイベントの企画(ウェルネスの過去実績より無償で提供)
3. 経費の最小化
 - ✓ ボランティアの活用(教育関係者や学生を想定)
4. 学校や地域との連携
 - ✓ 鹿児島ではあいご会との連携
 - ✓ 市や県教育委員会や学校とも情報交換をはかる

あいご会(鹿児島)とは

あいご会は、昭和36年4月、各校区に「子ども愛護会」が結成され、「子ども愛護市民運動」が推進されたことに始まります。この年、

- 子どものしあわせを願うのは、自然の親心である
- 隣近所が仲よく助け合うのは、市民生活の根本である
- 次代をになう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である

という愛護会宣言がなされました。その後、鹿児島市あいご会連合会が組織され、現在に至ります。

あいご会のねらいは、「子どものあるなしにかかわらず、全市民がすすんで協力して、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。」「子どもの会の育成母体である。(市民総ぐるみの子ども会育成組織)」となっています。

夢の子育てをみんなで……子育てに不安を持つ母親と子供の親子大学 教育ボランティアとのコラボで継続的無償講座

No.3

夢の子育て親子大学の立ち上げ

1. 概要

- ✓ 校区単位の地域で子育てに悩む母親を対象に経費負担のみの勉強会組織をつくる……あいご会の下部組織としての組織が望ましい
- ✓ 組織の立ち上げ、メンバー集めは校区のあいご会とウェルネスが共同責任者として担当する
- ✓ 組織は「〇〇地域夢の子育て親子大学」(例)などとし代表と事務局を決める、ウェルネスは事務局が決まるまでの間事務局を代行する
- ✓ 学習塾や大学に働きかけボランティアを募集、ボランティア契約を締結する
- ✓ ウェルネスが年間プログラムをボランティア塾に提供し、各塾は講師と場所の提供をする
- ✓ メンバーはfbやLineでお互いの情報交換をします
- ✓ またメンバーは月1回の親子交流会に参加し、ボランティア塾講師の下で子供との接し方を体験します
- ✓ メンバーは通信費や教材費などの経費として少額の会費が請求されます

2. 参加してもらいたいメンバー

- ✓ 子育てに何らかの悩みを抱えている家庭……ほとんどの家庭が該当
- ✓ 共働きや母子家庭で子育てに目配り出来ない家庭……半数以上が該当
- ✓ 潤沢に教育費をかけることの出来ない家庭……ほとんどの家庭が該当
- ✓ 親や親族から子育てに関する教えが期待できない家庭……多くが該当

- 塾は通常、新聞の折り込みチラシなどで広告宣伝費を使いますが、1万枚に一人の応募があるくらいで非効率で困っています。塾がこのボランティアに参加すると、就学児童に直接指導でき、活動そのものが校区でアピールされるので大きな広告効果が見込まれます。折り込みチラシは枚数にもよりますが、1回は20万円程度とみて良いと思います。
- 株式会社ウェルネスティー鹿児島はキャリア教育を実践している学習塾です<http://wellness-dream.com/>
- 子育て親子大学のプログラムにウェルネスのドリームコースを提供する事ができます

夢の子育てをみんなで……子育てに不安を持つ母親と子供の親子大学 教育ボランティアとのコラボで継続的無償講座

No.4

3. プログラム概要

常設プログラム

- ✓ フェースブックまたはLineを利用したメンバー間交流

定期イベント

- 毎月、特定日曜日の親子学習
- ✓ 年4回の屋外学習……自然観察会や社会学習に参加し、その内容は教育ボランティアの指導により、親と子が会話しながら体験記録を作ります
- ✓ 年4回の親子作文教室……絵本や童話を読み聞かせ、教育ボランティアの指導により親が子供と会話しながら子供に“読み手をワクワクさせるような作文・感想文”を書いてもらいます
- ✓ 年4回の親子料理教室……親子でハンバーグやケーキなどを一緒に作ります。終わってから、その様子は教育ボランティアの指導により作文や画像で記録に残します

イベントで期待する効果

- ✓ ボランティアの指導の中に、親が子供の感性や個性を引き出す仕組みを組み込んでおり、子供が自己を意識し、自己と家族あるいは自己と友達の関係を理解するようになります。そしてやさしさやモラルが大事だと気付かせることができると期待できます
- ✓ 母親と会話しながら子供は自分の考えを文章などで表現する力を身に付けられます（上手な自己表現は子供同士の社交に必要で、いじめや不登校などのコミュニケーションに由来する問題の回避につながります）
- ✓ 母親は押し付けでない子供が自ら理解していく“しつけ”をメンバー一体で習得できます

子育ての悩み

- ✓ 子育ての悩みとは基本的に親の思ったように子供が行動しないという事
- ✓ その原因の1つに親が子に求めすぎる事があります。子供は成長過程にあるので大人の要求に応えられないことがあるのは当然です。それを親は理解しないといけません。
- ✓ またしばしば見られるのは、親が子供の自我を認めていない場合です
- ✓ 自我を認めてもらえない子供は、認めてもらうため泣いたり反抗したりするのです
- ✓ 家庭の中、友達社会の中での子供の存在感をしっかりと認めてやるのが大事です
- ✓ でも親も人の子、いつも100%正しいことはできません
- ✓ そんなときに親子大学のようなイベントで子供の存在を団体で実践すると、同じ悩みを持つ家庭があること、自分の不安がどのくらい深刻なのか軽微なのか客観的に理解できるようになります。
- ✓ また、事態が深刻な場合は専門家や学校につなぐことも出来ます

あいご会など
地域の子供のための組
織

夢の子育て親子大学

責任体制

学長: あいご会より

事務局: メンバーとボランティアより

企画部

- メンバーの募集と名簿づくり
- メンバー同士のSNS運営
- 月次イベント企画
- 月次イベント実行
- 会費の請求と確認

メンバー

- 応募
- メンバー同士の責任者互選
- SNS活動
- 月次イベント参加
- 会費の支払い

屋外イベント例

意見交換会



母親は子供と一緒に
教育ボランティアの話を聞きます。どう、
子供の興味を引き、親子の会話を活発にするか。
母親は子育てにつながるポイントを押さえ
子供は母親とたっぷりと会話しながら、
その日の活動を楽しみます。
その活動を子供に記録させることで
家族や友達とのキズナを確認できます。

社会学習会



同じく甲突川沿いの散歩道ですが、
お年寄りの方々が清掃をしていました、
市の清掃請負と思います。
一緒に見て、母親から「何をしているのだとおもう？」
「どうして掃除しているんだろう？」と子供に尋ねると、
子供はその子なりに考えると思います。
自分たちはみんなで助け合っている、
そして、「自分も人のためにしたいな」と
言うような考えになればしめたもの。
それを社会学習としてまとめます。

自然観察会

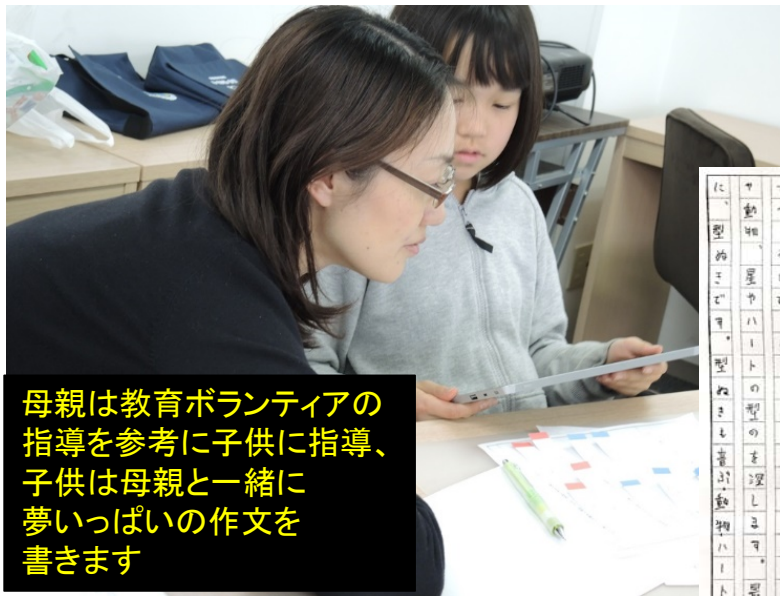


鹿児島市内を流れる甲突川沿いの木に
いました。セミの抜け殻ですが、これを
親子が見て、子供の想像を引き出します。
どうして行列を作ったのだろう？
セミはどうやって木を登ったのか？
このセミは何ゼミかなとか？
自由な疑問や発想を観察文としてまとめたら
子供の感性や夢の実現に
つながるとおもいませんか？

作文イベント例



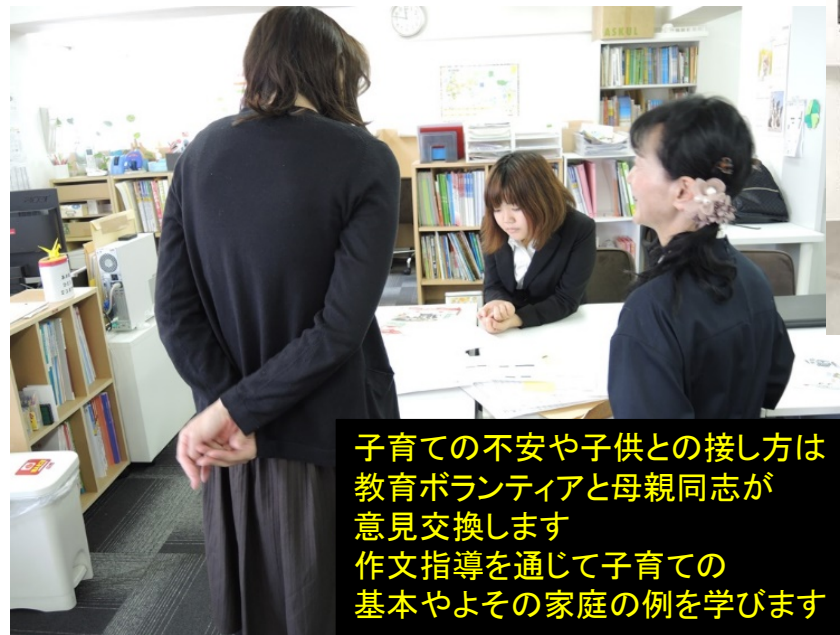
教育ボランティアが作文のテーマを設定し作文の書き方を説明



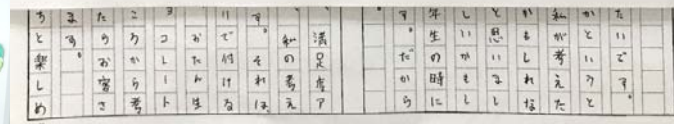
母親は教育ボランティアの指導を参考に子供に指導、子供は母親と一緒に夢いっぱいの作文を書きます



子供たち同志も話し合いながら楽しく夢いっぱいの作文に仕上げます



子育ての不安や子供との接し方は教育ボランティアと母親同志が意見交換します作文指導を通じて子育ての基本やよその家庭の例を学びます



子供の書いた作文は作文コンテストに応募したり、夏休みの宿題として使います

この作文例は持参の弁当を題材に子供起業する夢を書いたものです

親子料理教室

感動の共有体験

料理イベント例



母親と一緒に
楽しみながら料理。
失敗しても、間違っても
それが子育て材料です。



母親と一緒に
食べながら会話をします。
何が好き？
どれが好き？
子供との共同作業後の楽しい親子
会話が実現できます。

夢の子育てをみんなで……子育てに不安を持つ母親と子供の親子大学
教育ボランティアとのコラボで継続的無償講座

No.5

4. 本プロジェクトに期待する効果

保護者サイド

- ✓ 子育ての在り方を意識するようになり、自分の子育ての適正度を知るができる
- ✓ 自分の子育てを地域内で意見交換したり、他の家庭との比較で評価できる
- ✓ 子供のしつけや、やる気引き出しをする言葉の掛け方や行動を学べる
- ✓ 子育てに必要な、親子が接する機会をつくる事が出来る
- ✓ 少ない経費で子供の教育が出来る(作文、理科観察、社会科)

子供にとって

- ✓ 感性が磨かれ将来の夢を考えるようになる
- ✓ 非行や不登校などの問題行動から遠ざける方向に導く
- ✓ 母親と親身になった活動を楽しめる

地域にとって

- ✓ 地域の子育ての質を高められる……児童の非行、いじめ、不登校など減少につながる
- ✓ 子供の成績だけでなく、心を大事にする意識の浸透